



女性職員の活躍を紹介します



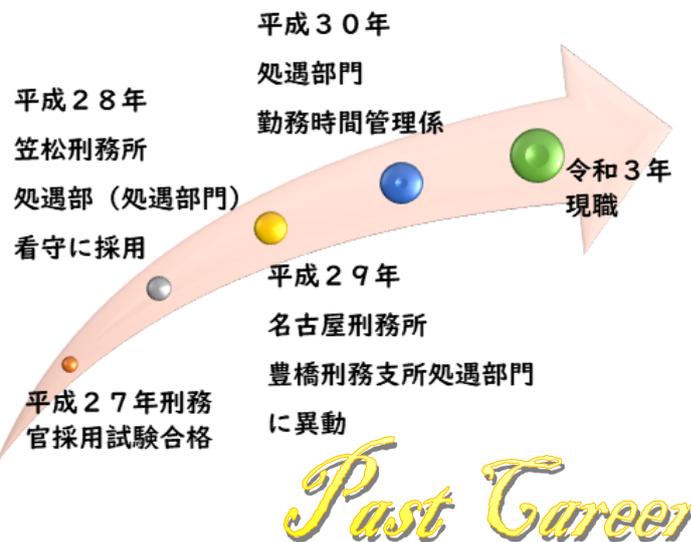
Q1 現在の業務内容は？

日勤で時間管理係を命じられています。職員の勤務時間の管理や、処遇部門内の事務仕事をしています。

名古屋刑務所豊橋刑務支所 処遇部門 看守

Q2 この仕事を選んだ理由は？

以前は派遣社員として働いていたため、安定したイメージの強い公務員という職業に憧れがありました。刑務所の女子職員が不足している状況を知り、仕事の内容や受験に不安はありましたが一度試験に挑戦してみようと思い、採用試験を受けました。



Q3 仕事をしていて怖いと思ったことはありませんか？

刑務官の勤務としての大前提ではありますが、被収容者と接することが怖いです。何か言われたら、何かされたらと考えてしまいます。夜勤をしていた時は、夜間の寮舎巡回が怖かったです。被収容者同士でけんかをしていたら対処できるのか不安でしたし、被収容者が倒れて救急車で運ばれたこともあり、居室を視察する度に何か異変があったらどうしようと常に緊張をしていました。

また、都度報告する必要もあるため、自分から他人に声をかけたり、話すことを苦手とする人は、そうでない人よりも苦勞してしまうかもしれません。

Q4 仕事をしていて成長したと感じることは？

後輩職員に仕事を教えることができた時や、質問に答えることができた時、ちゃんと仕事を理解し、自分の知識になっているんだなと感じます。また、被収容者に対して物怖じせず、毅然とした態度で処遇できるようになり、度胸が育ったように思います。

刑務官を目指す方へひとこと！

常に緊張感を持って勤務に当たらなければならないため、心身共に大変な仕事です。特殊な勤務ですし、未経験で何も分からなくて、不安に思うことも当然多くあると思いますが、支えて助けてくれる人は必ずいます。

Q5 どんな人が向いていますか？

どうやっても人と関わる仕事なので、人と接することが苦ではない人の方が、自分自身がやりやすいと思います。被収容者への指導や注意は勿論のこと、他職員とお互いに情報の共有をしたり、上司に指示や判断を仰ぎ、

興味があれば受験を志し、進路の候補に加えるのもひとつの選択だと思います。